

COVER PHOTO

市民の皆さんと一緒に北九州らしいロケーションで撮影した写真が情報誌Qの表紙を飾ります。冬号の舞台は2014年4月に旧若松市制100周年を迎えた若松区の北海岸。青い海と空に白い灯台が映えるこの場所で「自然」をテーマに撮影しました。

Q
vol. 47
winter
2015

Q
vol. 47
winter
2015

SANKAIJUKU WORLD PREMIERE



北九州芸術劇場 × パリ市立劇場
× エスプラネード・シアターズ・オン・ザ・ベイ × 山海塾

山海塾ワールドプレミア in 北九州芸術劇場

3月— 待望の新作。見逃せない！世界初演の感動を北九州で。

世界40カ国以上で活躍し、圧倒的な人気を誇る「山海塾」。

日本を代表する舞踏カンパニーの最新作が、

ついに北九州芸術劇場でワールドプレミア（世界初演）を迎える。

振り返れば2005年、「時のなかの時—とき」がパリで世界初演を迎えた時から10年。

共同プロデュースという形で織り重ねてきた北九州との関わり。

世界中の注目が集まる瞬間が、今から待ち遠しくてたまらない。

文：重岡美千代

時のなかの時—とき TOKI - A Moment in the Weave Time

演出・振付・デザイン：天児牛大
音楽：加古隆・YAS-KAZ・吉川洋一郎
舞踏手：天児牛大・蟬丸・岩下徹・竹内晶・市原昭仁・棚秋太洋・長谷川一郎・松岡大・浅井信好
共同プロデュース：パリ市立劇場 / 北九州芸術劇場 / 山海塾
初演：2005年12月 / パリ市立劇場
北九州公演：2006年3月11日・12日、2007年4月28日

PROFILE

山海塾プロフィール

1975年に主宰・天児牛大によって設立された舞踏カンパニー。1980年より海外公演を開始し、1982年からは、世界のコンテンポラリーダンスの最高峰であるパリ市立劇場を創作活動の本拠地として、およそ2年に1度のペースで新作を発表しつづけている。1982年以降の作品は、すべてパリ市立劇場との共同プロデュース。厳しく作品の質を問う同劇場が、30年以上にも渡り共同プロデュース形式で創作を支援し続けているカンパニーは、世界でもわずかしかが存在しない。

二つの流れ—から・み KARA・MI - Two Flows

演出・振付・デザイン：天児牛大
音楽：加古隆・YAS-KAZ・吉川洋一郎
舞踏手：天児牛大・蟬丸・岩下徹・竹内晶・市原昭仁・長谷川一郎・松岡大・浅井信好
共同プロデュース：パリ市立劇場 / 北九州芸術劇場 / 山海塾
初演：2010年4月 / パリ市立劇場
北九州公演：2011年1月22日・23日

劇場が声を挙げたい」という津村卓館長の熱い想いもあったという。それに応えるのかのこく「時のなかの時—とき」は、07年1月第6回朝日舞台芸術賞のグランプリを受賞。受賞時のコメントとして天児は「劇場という場の不思議性が、『とき』をクリエイションするきっかけとなりました。劇場では、日常とは異なった時間と空間が舞台上で展開され、上演される作品は常に入れ替わる。都市の中にくつも点在する日常の中の異空間、[〃]時のなかの時[〃]を入れ子のように作品のうちに込め、劇場へのいざないのつもりで作りました」と語った。それは「観客への招待状[〃]でもあり、劇場にとっては静かで熱いエールのようにも響いた。以降、08年発表の「降りくるものなかで—とばり」、10年発表の「二つの流れ—から・み」、12年発表の「歴史いぜんの記憶—うむすな」と共同プロデュースは続く。そして2015年春、待望の新作である。パリ市立劇場とシンガポールのエスプラネードシアターズ・オン・ザ・ベイが名を連ねる中で、北九州での世界初演が決定。過去、未来、生命、宇宙と壮大な世界観を旅してきた山海塾が、原点ともいえる日本でどんな覚醒の扉を開くのか。今からもう、楽しみで仕方ない。

北九州芸術劇場が共同製作に参画したのは、2005年の「時のなかの時—とき」から（北九州での日本初演は2006年）。背景には、「日本を代表するカンパニーの作品だからこそ、日本の

1975年に天児牛大によって設立された山海塾は、今春40周年を迎える。77年に第二作「アマガツ頌」で旗揚げ後、78年に出世作となった「金柑少年」を発表すると、80年には海外へその活動を広げる。翌年にはフランスのアヴィニョン・フェスティバルをはじめ伝統ある舞台芸術フェスティバルに参加し、日本の舞踏[〃]を世界に広く知らしめることとなる。さらに82年には、世界のコンテンポラリーダンスの最高峰であり、常に作品の質を厳しく問うことから名高いパリ市立劇場から共同製作のオファーが持ち上がる。以降、2年に1度のペースでパリ市立劇場を拠点に新作を発表し続けているが、実は同劇場とは長期契約ではなく、新作発表の度に次回契約が図られるシビアナシステム。30年以上にもわたりその関係性を続けられていること自体稀有なことで、山海塾の揺るぎない芸術性を立証している。

山海塾 × 北九州芸術劇場、
10年の軌跡が生み出すもの。

▶北九州芸術劇場 で上演された山海塾のレパートリー作品



©Hitomi SATO

金柑少年 KINKAN SHONEN

初演：1978年6月 日本消防会館ホール
北九州公演：2007年2月



©Birgit

遙か彼方からの一ひびき HIBIKI – Resonance from Far Away

初演：1998年12月 パリ市立劇場
北九州公演：2014年12月



©Jacques Denarnaud

かがみの隠喩の彼方へーかげみ KAGEMI – Beyond the Metaphors of Mirrors

初演：2000年12月 パリ市立劇場
北九州公演：2003年10月、2014年2月



©Sankai Juku

SANKAIJUKU WORLD PREMIERE

歴史いぜんの記憶—うむすな UMUSUNA – Memories before History

演出・振付・デザイン：天児牛大
音楽：加古隆・YAS-KAZ・吉川洋一郎
舞踏手：天児牛大・岩下徹・蟬丸・竹内晶・市原昭仁・長谷川一郎・松岡大・石井則仁
共同プロデュース：リヨン・ダンス・ピエンナーレ/パリ市立劇場/北九州芸術劇場/山海塾
初演：2012年9月 フランス国立リヨン歌劇場
北九州公演：2013年1月26日・27日

Q1. 山海塾との出会いは？

高校生の時、友達から「山海塾を観た!」という興奮気味の電話があり、舞台で何が行われたかを事細かにおよそ30分間くらい聞いた。それが最初。しかしよく意味がわからず、後に写真を見て「白い!」と思った。(※作品は「卵を立てることから—卵熱」)

Q2. 初めて観た山海塾作品は？

1990年、渋谷文化村で「闇に沈む静寂—じじま」(あとはゼミ室で旧作の映像を)

Q3. 山海塾の作品の魅力は？

日本人を感じる。カラダなのか魂に宿るものなのか。ブレがなく、不動の変わらなさ。遠くから見守るような優しさ。

Q4. 山海塾の作品で最も印象に残っている作品もしくはシーンは？

つい最近、日中韓の文化イベントにてご一緒させてもらい、舞台袖から拝見しました。演者としての集中力そして舞台空間をぎゅっと凝縮する心地よい力に脱帽です。あと舞台袖で作品を外側から助けていた蟬丸さんの姿に愛を感じた。山海塾の作品が終了した後の舞台上(リノリウム上)には、彼らのカラダからほとばしった白い汗と粉が散らばっていた。「飛ぶ鳥あとを濁す」それがまたいい。

Q5. 山海塾からインスピレーションや影響を受けた部分がありますか？

自分も一人の創り手でありダンサーであり、そんなことを思うと、決して遠い世界ではなく、自分らにも同じ血が流れていると確信できる。初期の頃のYAS-KAZの音楽など、動きとの融合の仕方はやっぱり美しい。

Q6. あなたにとって山海塾とは？

「白い恋人」



近藤良平

©HARU

振付家・ダンサー。学ラン姿でダンス、映像、コントなどを展開するダンス・カンパニー、コンドルズ主宰。NHK「サラリーマンNEO」,「からだであそぼ」などに振付出演。同「てっぱん」オープニングの振付も担当。第四回朝日舞台芸術賞・山修司賞受賞。いくつかの大学でダンスの指導にあたる。東京スポーツ国体2013開会式式典演技総演出担当。南米育ち。愛犬家。

Q1. 山海塾との出会いは？

1980年にパリ市のフォーラム・レ・アールで行われた「金柑少年」の公演に関するプレス記事を見て知りました。白塗りでアンドロジーンな肉体が空間を移動している姿がとても印象的でした。

Q2. 初めて観た山海塾作品は？

2000年、パリ市立劇場「かがみの隠喩の彼方へーかげみ」

Q3. 山海塾の作品の魅力は？

数多くのヴィジュアルが現すメタファーで表現される天児牛大さんの独特のエスティクと照明や熟練された舞踏ダンサーの踊り。絶対的な世界の起源へと導くようなダンサー達による力強い動きや表現に衝撃を受ける所。



フランシーヌ・メウール

複数の大学で芸術活動修士、造形芸術修士などを修了。トゥール現代アート・センター、ジオルジュ・ポンピドゥ国立美術センターといったフランス国内のアート施設で展覧会の企画に携わったのち、シンガポール、タイ、韓国でフランス大使館に勤務。フェスティバルのキュレーションや文化担当官などを務める。2012年9月からアンスティチュ・フランス九州・館長。

Q4. 山海塾の作品で最も印象に残っている作品もしくはシーンは？

「かげみ」で、白塗りの肉体、緊張と緩和の間を行き来するゆっくりとした踊りに魅了されました。巨大な蓮の舞台装飾の中で、けがれのない人間と精霊の中間のような者達が風変わりな儀式を行っている。天使と悪魔、影と光、男性と女性が無に現れる様子に心を打たれました。なぜなら、それはゆっくりと絶え間なく変化しながら行われる普遍的な生のサイクルのように思えたからです。

Q5. フランスで山海塾はどのように受け取られていますか？

カンパニーはフランスで高い評価を受けています。新しい領域を切り開いた魅惑的な芸術とプレスで紹介されています。それぞれの作品は造形の驚くべき美しさで一体となって、肉体を通じて体感できる舞台だと思えます。山海塾は卓越した時間をもたらす独自の舞台芸術を創りあげました。作品はまばゆい限りの瞑想の時間を観客に与えてくれます。新作発表は毎度フランスで待ち望まれており、大盛況の舞台となっています。

手に委ねられ、ゆえに世界中の人々に受け容れられてきた。呼吸も忘れて入り込んでしまう舞台に对峙すると、最初にふっと息づく瞬間がことさら印象深い。その世界観に触れると、日常の中で押し込められていた奥底にある何かが震え、目覚めるような気さえる。深遠なる淵に佇むあの快感を、どこよりも早く北九州で。桜の開花よりも待ち遠しい春が来る。

舞踏家たちの究極の身体能力と自己開示の泉から立ち上るメッセージ。そこから受け取るものは常に観客の手に委ねられ、ゆえに世界中の人々に受け容れられてきた。呼吸も忘れて入り込んでしまう舞台に对峙すると、最初にふっと息づく瞬間がことさら印象深い。その世界観に触れると、日常の中で押し込められていた奥底にある何かが震え、目覚めるような気さえる。深遠なる淵に佇むあの快感を、どこよりも早く北九州で。桜の開花よりも待ち遠しい春が来る。

海外において、新作のワールドプレミアとは、各国のマスコミや舞台芸術関係者が訪れる華やかな機会である。カンパニーにとっては、作品が評価され、その後のツアースケジュールに影響する重要な舞台となる。それが北九州で行われるなんて、想像しただけでも胸が高鳴る。山海塾はこれまで、欧米、アジア、オセアニアなど世界40カ国のべ700都市以上でワールドツアーを展開。あらゆる文化圏で高い評価と支持を得てきたことが、山海塾作品の持つ普遍性を実証してきた。それは、天児牛大が自らの舞踏哲学をふれること無く追求してきたことを物語っている。舞踏とは何かと問われれば、「貫して「重力との対話」と答える。そうした身体的な普遍性だけでなく、作品の中では「誕生」や「死」といった人間の内的な普遍性や本質にも迫る。しかも「沈殿」という言葉がふさわしいほどに深く深く慍(くら)いところまで。パリのルモンド紙は、「時のなかの時」とき」の舞台評で次のように語った。「振付家の中で、目に見えないものや、内的なものや、自身の謎といった難しい概念を意識させる人は稀にしかない。このような冒険は、この現代の儀式に飛び込むことができる振付家へのみ可能なのだから。天児自身によって踊られるソロは、人を魅惑する強い力を持つている。彼は床の上を、常に腰を折った姿勢で対角線に進む。その一歩ごとに、生ける者のアルカイックな不安をさかのぼり、内的な闘いを強めていく(05年12月)」

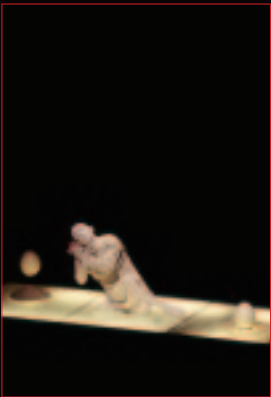
3月—待望の最新作を、
どこよりも早く北九州で。



©Ellan BACHINI

あわせ鏡のはざまで—うつし UTSUSHI – Between two mirrors

初演：2008年7月
シャトー・バロン国立文化創造普及センター・野外形劇場
北九州公演：2012年1月



©Minako JSHIDA

卵を立てることから—卵熱 UNETSU – The Egg Stands out of Curiosity

初演：1986年4月 パリ市立劇場
北九州公演：2009年11月

北九州芸術劇場 × パリ市立劇場 ×
エスプラネード・シアターズ・オン・ザ・ベイク 山海塾
共同プロデュース

山海塾「新作」世界初演

2015年3月28日(土)18:00、29日(日)14:00
●北九州芸術劇場 中劇場

※詳細はステージレビューp9へ

山海塾ポスター展1975-2015

山海塾の40年の活動の軌跡を
公演ポスターで辿ります。

2015年2月27日(金)・3月13日(金)10:00-19:00
●アンスティチュ・フランセ九州5Fギャラリー
●入場無料 土・月休廊・水は18時まで

2015年3月18日(水)・30日(月)10:00-19:00
●リバーウォーク北九州5F
●入場無料

山海塾が世界的に知られるきっかけともなった

国際舞台芸術フェスティバルの歴史と現在

ヨーロッパを中心に、現在では世界に広がりを見せる国際舞台芸術フェスティバル。

数週間から長い場合は数ヶ月に渡り、街が祝祭にわき、

各地から訪れる観客とアーティストが交わり、様々な出会いが生まれる。

作品を発表するアーティストにとっては、活動の幅を広げる一つのステップでもある。

この春北九州で新作を上演する山海塾が世界で知られるきっかけとなったのも、

1980年にフランスのナンシー市とアヴィニオン市で行われたフェスティバルへの参加がきっかけだ。

近年、多様化しながら世界各地に広がりつつある舞台芸術フェスティバル。

それはいったいどういった時代の中で生まれ、そして発展してきたのだろうか？

文：岩城京子

アヴィニオン演劇祭中、市内にあふれる
オフシアター(招聘プログラム以外の自
主的な公演企画)のポスター(2007年)

©Matthieu Riegler, CC-BY

リミニ・プロトコル[100% Brussels]、
クンステンフェスティバルデザール(ベルギー)

© Catherine Antoine29

「フェスティバル」と表記すると途端に語義があいまいになるが、いま世界各地で開催される演劇祭は、そもそものは文字通り、宗教的祭儀として誕生した。通説によるとはじまりは、古代ギリシャのディオニューソス神に捧げられた演劇祭。アイスキュロス、エウリピデス、ソポクレスといった劇作家による現存するギリシャ悲劇のほとんどが、この演劇祭で競演された。また、中世ヨーロッパではフランスを中心に、キリストの生誕、受難、復活を主題とした神秘劇が祭事にあわせ上演された。じつは宗教的いわれと関係なく、日常的にフェスティバルが開催されるようになったのは、かなり近年になってから。とりわけ二十世紀に入ってからのもち、欧州で盛んに見られるようになった現象だといえる。この稿では限られた紙幅にあわせ、便宜上、これらの欧州演劇フェスティバルをざっくりと戦後三つの年代に区分し、社会や時代との関わりからどのようにフェスティバルが生まれてきたかを説くと共に、今回北九州で新作公演を行う山海塾を中心に、日本人作家との現在に至る関係性を紹介しようと思う。



リヨン・ダンス・ビエンナーレ(2012年)にて、
会場に掲げられた山海塾ポスター。

フェスティバルの興り

まずは、戦後第一期の代表的存在といえるアヴィニオン演劇祭について説こう。暗く、重く、苦しい、第二次世界大戦の暗雲がようやく晴れ、人々が光に満ちた未来に向けて目を向けはじめた1947年。俳優で演出家のジャン・ヴィラルは、演劇はあらゆる社会階層にむけて開かれるべき芸術であるという「民衆演劇運動」の理念を実現すべく、かつて教皇庁が置かれていたフランス南東部に位置する小さくも美しい町において野外演劇祭を開始した。ヴィラルはこれからの時代、軍勢力や政治力ではなく、演劇こそが個々の国の「文明の偉大さを検証する尺度である」と公言。1971年に死を持つ芸術監督職を退くまで、まさに有言実行の精神で、この田舎町に流の演劇、音楽、映画、ダンス作品を招聘しつづけ、芸術大国としてのフランスの国力を世界に誇っていた。山海塾がアヴィニオンに初参加したのは、1980年。旧市街のベニトン・ブロン教会というチャペルを改装した劇場で、2年後のパリ市立劇場との初共同製作公演『縄文頌』の礎となる小作を発表した。他にアヴィニオンと時を同じくして創設された演劇フェスティバルには、ウイール芸術週間(1951年)、エディンバラ・フェスティバル(1947年)、ベルリン芸術祭(1951年)、オランダ・フェスティバル(1947年)などがある。



山海塾「降りくるもののがでーとばり」
がシンガポールで上演された際のフェ
スティバル・パンフ(2012年)。

国際化と日本人 アーティストの活躍

戦後第二期のフェスティバルは、1960年代頃に勃興する。特にフランスでは、作家のアン・ドレ・マルローが文化大臣に就任した1959

年以後、分権化政策の一貫として地方に「文化の家」と呼ばれる芸術施設が次々に設立され、それとともに地方都市のフェスティバルも増加していった。そのうちのひとつが、のちにやはり文化大臣を務めるジャック・ラングによって、まずは学生演劇祭として1963年に創設され、1969年より本格的な国際演劇祭となったナンシー国際演劇祭(1983年に終了)。イエジ・グロトフスキ、ロバート・ウィルソン、ピナ・バウシュをフランスに初めて紹介したことで有名なこの演劇祭は、毎年5月に開催され、その実験的プログラミングに惹かれ、当時の舞台芸術界の鬼才が世界中から集結した。山海塾の公演は上記アヴィニオン公演の2ヶ月前、1980年度フェスティバルの千秋楽に行われた。なお同演劇祭は1971年に、寺山修司の天井敷戯、青年座、結城座の3劇団を招聘。1973年には鈴木忠志の早稲田小劇場をフランスに紹介している。この時代に設立された他のフェスティバルには、ボルドーのシグマ・フェスティバル(1965年)、パリのフェスティバル・ドートンヌ(1972年)、またフランス以外ではオーストリアのシュタイヤーマルクの秋芸術祭(1968年)や、ドイツのミュールハイム劇作家フェスティバル(1976年)などがある。



フェスティバル・トランスアメリカ(2011年)
で上演されたチェルフィッチュ「ホットペッパー、
クレー、そしてお別れの挨拶」のポスター

グローバル化と 多様化の現在

現在までつづく戦後第三期は、90年前後から活発化する。この時代のフェスティバルの特徴は、世界各地への遍在化と、コンテンツの多様化。前者の例をいくつかあげるなら、岡田利規(チェルフィッチュ)が定期的に公演を行うブリュッセルのクンステン・フェスティバル・デザール(1994年)を筆頭に、三浦大輔(ポツドル)が招聘されたモントリオールのフェスティバル・トランスアメリカ(1985年)、タニノクロウが参加したニューヨークのアンダー・ザ・レーダー(2004年)、さらに中東(ペイルー・ト国際ダンスプラットフォーム、南米(プエノスアイレス国際演劇祭)、アジア(韓国フェスティバル・ボム)などで増加の一途を辿っている。フェスティバルのグローバル化に伴い、山海塾のツアー先も広がりを見せている。2014年には初めてのインド公演が行われ、新作の世界初演も、これまでのパリに加え、リヨン(2012年)、北九州(2015年)と移りつつある。その数が増えるとともに、他との差異化を図るため、コンテンツを特化するフェスティバルも増えている。代表例に、梅田宏明が参加したテクノロジー・アートと実演芸術の双方から新たな表現を探るオランダのT o d a y s A r t (2005年)などがある。

舞台芸術界ではいまや「フェスティバルマーケット」という言葉があたりまえのように使われ、世界のフェスティバル市場を巡回することにより、グローバルな活動を展開する作家たちが増えている。山海塾は、そうして世界市場の観客に受け入れられた日本人カンパニーのまさに先駆者的存在だといえるだろう。

北九州芸術劇場×パリ市立劇場×エスプラネード・シアターズ・ザ・ベイ×山海塾 共同プロデュース

山海塾「新作」世界初演

高校生

©Sankai Juku

北九州で世界初演

世界40カ国以上で活躍し、圧倒的な人気を誇る舞踏カンパニー・山海塾。フランス・パリを拠点として30年間活動を続け、その洗練された肉体と造形の美しさで観客を魅了し続けている山海塾の2年ぶりの新作を、今年是世界中のどこよりも早く北九州で上演します。世界初演の幕開けをどうぞお楽しみください。関連企画・山海塾ポスター展も開催します(P.5参照)。

[演出・振付・デザイン] 天児牛大
 [音楽] 加古隆、YAS-KAZ、吉川洋一郎
 [料金] 一般¥4500、ユース(24歳以下)¥2500
 [会場] 中劇場

14:00	3/28(土)	3/29(日)	アフタートーク
18:00	●	●	

先行予約日	1/24(土)	一般	2/1(日)～
-------	---------	----	---------

NODA・MAP 第19回公演「エッグ」



華麗なる競演が再び!!

日本が誇る劇作家・野田秀樹が巨大な知の「卵」を産み落とす! 2012年に予測不可能な展開で観客を熱狂の渦に巻き込んだ「エッグ」の再演が北九州に上陸。華麗なる最強のキャストたち、椎名林檎が手掛けた心に刺さる音楽、次々と姿を変える舞台装置。1秒たりとも見逃せない圧倒的なスケールでお届けします!

[作・演出・出演] 野田秀樹 [音楽] 椎名林檎
 [出演] 妻夫木聡、深津絵里、仲村トオル
 秋山菜津子、大倉孝二、藤井隆、橋爪功

[料金] S席 ¥9800、A席 ¥7800
 サイドシート ¥5500 (25歳以下 ¥3000)
 高校生引シート ¥1000 (1月5日以降HP参照)

[会場] 大ホール

残席わずか
 *当日券取扱あり

平成27年度 第45回 北九州市ファミリー劇場

— 角笛シルエット劇場 —

「花さかじいさん」「つのぶえのうた」



色と光溢れる美しい影絵劇

長きにわたって愛され続ける北九州市ファミリー劇場が平成27年で45回目を迎えます。かわいらしい人形たちによって描かれる、幻想的で色鮮やかな影絵の世界に子どもたちはくぎ付け間違いなし!後半はマスコットのクックちゃんと一緒におなじみの童謡を大合唱します。ぜひ親子揃ってお楽しみください。

5/19(火)	戸畑市民会館 大ホール
5/20(水)	八幡市民会館 大ホール
5/21(木～23土)	北九州芸術劇場 大ホール
5/25(月)	若松市民会館 大ホール
5/26(火)	門司市民会館 大ホール

[開演] 10:30

[料金] 3歳～中学生 ¥900、大人 ¥1100
 親子 ¥1700 *2歳以下観覧無料

一般 4/17(金)～ *当日 ¥300増

*どの公演にも幼稚園・保育園の団体参加あり

人形浄瑠璃「文楽」



©青木信三(「曽根崎心中」天満屋の段)

日本が世界に誇る伝統芸能

太夫の語りと三味線が一体となった浄瑠璃に、人形芝居が合わさった日本が世界に誇る伝統芸能「文楽」。情感豊かな美しい舞台芸術の今年度の演目は、不動の人気を誇る「曽根崎心中」。そして、浄瑠璃三大名作と呼ばれる傑作のうちの二つ「義経千本桜」と「菅原伝授手習鑑」など、有名作品が揃い踏み。美しい世界に酔いしれてください。

【演目】昼の部「曽根崎心中」生玉社前の段、天満屋の段、天神森の段
「義経千本桜」道行初首旅
夜の部「菅原伝授手習鑑」寺入りの段、寺子屋の段、「釣女」
【料金】一般¥3000、学生(大学生以下)¥1500
【会場】戸畑市民会館 大ホール

3/8日

昼の部 13:30
夜の部 18:00

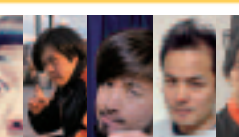
*上演前にあらすじの解説あり

発売中

*当日¥500増 *昼の部・夜の部 総入れ替え制

北九州芸術工業地帯2015 関連企画

「劇トツ×20分」



有門太太郎 (熊本)

ブルーエゴナク (北九州)

劇団ヒロシ軍 (長崎)

劇団Hallbrothers (福岡)

不思議少年 (熊本)

【出場劇団】有門太太郎プレゼンツ(北九州)
ブルーエゴナク(北九州)
劇団ヒロシ軍(長崎)
劇団Hallbrothers(福岡)
不思議少年(熊本)

【料金】¥1500 【会場】小劇場

九州No.1の栄光は誰の手に

上演時間20分以内・登場人物は3人までというルールのもと、九州各地の劇団が短編作品を上演し勝敗を競う「劇トツ×20分」が今年もやって来る。昨年の優勝劇団・不思議少年(熊本)に挑むのは北九州・福岡・長崎から集結した精鋭たち。審査員と観客による投票で勝敗を決定する九州の演劇猛者たちの熱いバトル、絶対に見逃せません!

13:00 ● 3/22 日

一般 1/11

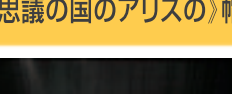
 日～
*全席自由

北九州芸術劇場プロデュース

「《不思議の国のアリス》」帽子屋さんのお茶の会」東京公演

迷い込んだら抜けられない

今秋、不条理劇ともナンセンス喜劇ともいわれる別役実の戯曲を振付家・ダンサーの近藤良平が演出という異色の組合せで好評を博したプロデュース作品を、東京にて上演!《不思議の国のアリス》の森を舞台に、アリスやチシャ猫、三月兎などお馴染みの登場人物たちが巧みな言葉遊びにダンスも交えて一騒動! ?ちょっと奇妙でも可笑しなお茶の会へようこそ。



©木寺一路

[作] 別役実
[演出・美術・出演] 近藤良平
[演奏] 吉田トオル
[出演] 椎木樹人、寺田剛史、中嶋さと ほか
[料金] 一般 ¥3000、中〜大学生 ¥2000、小学生 ¥1000
[会場] あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)

3/21(土) 3/22(日)

14:00  アフタートーク

一般 1/18(日)〜

*当日 ¥500増 ※託児なし

桂九雀で田中啓文、こともあろうに内藤裕敏。

笑酔亭梅寿謎解断～立ち切れ線香の章





古典落語をミステリーで

上方落語の大師匠・笑酔亭梅寿の元に弟子入りした不良少年・竜二が周辺で起こる怪事件の謎を解き明かしていく田中啓文の人気ミステリー・シリーズ「笑酔亭梅寿謎解断」の一篇「たちきり線香」の舞台化が実現。

語り?芝居?落語?

田中啓文×内藤裕敏×桂九雀が古典落語をベースに創り上げる、新たな世界に今期待ください。

〔原作〕田中啓文
 〔脚本・演出〕内藤裕敏
 〔出演〕桂九雀、阪上洋光、石川都子
 〔三味線〕浅野美希
 〔料金〕一般¥2500、学生・シニア(65歳以上)¥2000
 〔会場〕小劇場

2/22(日)

13:00 ●●●

17:00 ●●●

一般 12/21(日)～

*全席自由 *当日¥300増

一般 12/21(日)～

*全席自由 *当日¥300増

北九州芸術劇場×市民共同創作リーディング

「Re:北九州の記憶」

©藤本 肇

私たちの記憶が鮮やかに甦る

北九州の街で何十年と暮らしてきた高齢者に、地元の若手作家が話を聞き、思い出やエピソードなど、記憶の断片をちりばめながら演劇的に脚色し、戯曲に仕上げ舞台化する事業の3年目。結婚、親子、仕事、恋の話など、個人の中に眠っていたささやかなエピソードから発想を得た新しい8つの物語が、舞台の上で生き生きと甦ります。

【構成・演出】内藤裕敬
 【作】穴迫信一、鴛飼秋子、坂井彰、塩津順子
 寺田剛史、藤本瑞樹、守田愼之介、脇内圭介
 【料金】¥500
 【会場】小劇場

2/28^土 3/1^日

14:00

先予約日 1/10^土 一般 1/11^日～

*全席自由

MONO 第42回公演「ぶた草の庭」

＜谷古宇正彦（「のそき、哀愁」）＞

〔作・演出・出演〕土田英生

〔出演〕水沼健、奥村泰彦、尾方亘久、金替康博

山本麻貴、もたい陽子、高阪勝之

高橋明日香、松原由希子

〔料金〕一般¥3500、学生¥3000

〔会場〕小劇場

正体不明のウィルスが蔓延

軽快なテンポで進むコミカルな会話。
お洒落な舞台美術。ドラマ「斉藤さん
2」 「俺たちに明日はある」の脚本も
手掛けた土田英生率いる、人気劇団
MONOの最新作は、最大級の悲劇的
な状況で喜劇的に展開する渾身の
一作！ウィルスに侵された人々が穏や
かに暮らす隔離地域。ぶた草が病気
の進行を遅らせるらしいが、解明が
進むにつれ事態は変わっていく。

14:00 ● 3/7(土) 3/8(日)
18:00 ○
アフタートーク

先行予約日 1/10(土)

一般 1/11(日)～

*当日¥300増

シアラボCafé2014 リーディング公演 「デブと安藤、ハイヒール」

【作・演出】石原有美子
 【演出補佐】金子愛里、四宮嵩世、古庄花江
 【出演】シアラボCafé2014参加者
 【局長】泊篤志 【料金】¥500
 【会場】café causa (小倉北区浅野2-12-14)

1/31① 2/1①
 14:00 ○ ○
 18:00 ○ ○

アフタートーク

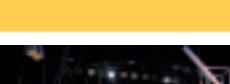
戯曲講座を経て作品決定！

新人劇作家メンバーと8日間の期間限定劇団を立ち上げ、劇場を飛び出してCaféにて新作戯曲「デブと安藤、ハイヒール」を上演。どこかの田舎にある小さなバスセンター。ただ一つ違うのは、町から出ることを禁じられた人がいること。久しぶりに帰郷した安藤、高校時代の親友・デブ、都会に憧れる女子高生…超管理社会の中でそれぞれが選ぶ道は？

一般 12/21①～

*全席自由 *託児なし

不思議少年「水と油」



第6回演劇公演「東京ジャングル」

【作・演出・出演】大迫旭洋
 【出演】穴迫信一、宇都宮誠弥、椎木樹人、手島耀
 【料金】一般¥2000、高校生以下¥1000
 【会場】小劇場

今日で地球が終わりでも

九州各地の劇団が熱いバトルを繰り上げた「劇ツツ×20分」にて見事優勝を果たした不思議少年(熊本)が北九州初登場!「笑いとせつなさと再発見」をキーワードに良質なエンタメを届ける彼らが、世界の終末の人間模様を描く。空には巨大な隕石一窮地に陥った5人の男たちによる乱痴気騒ぎ。どうしようもなく愛しい男たちの共演にご期待ください。

発売中

*全席自由 *当日¥500増

	2/6 金	2/7 土	2/8 日
14:00	●	●	●
19:00	●	●	●

北九州芸術劇場リーディングセッションvol.25

「書く女」

※本開仲彦

[作・演出] 永井愛 [演奏(ピアノ)] 林正樹

[出演] オーディション選抜メンバー

[料金] ¥1800

[会場] 小劇場

ひたむきに生きた一葉の半生

人気企画第25弾は二兎社主宰・永井愛を作・演出に迎え、樋口一葉の日記をもとにその作家的成長を描いた名作を上演。小説の師・半井桃水への恋心、若い文士との交流、自らの不遇の生涯さえ創作のエネルギーへと昇華させていった一葉の、奇跡の14ヶ月と呼ばれる執筆期間を含む19〜24歳を追った青春群像劇を、生演奏のピアノが彩ります。

※アフター
トーク
◎ 演劇力フェ

先行予約日 12/20(土)

一般 12/21(日)～

*全席自由 ※当日¥200増 ※演劇力フェ要事前申込

手のひらに指。体全部が絵筆に変身♪

まずは画用紙の上でウォーミングアップ

進行役の黒田征太郎さん

好きな色を選んでいざ本番！

みなさん 見に来てね！

PhotoGallery
+ Junior
Pick up program

かべとあそぼう
～子ども LIVEペインティング～
2014/8/29

劇場がより身近な存在になって欲しいとの願いを込めて、イラストレーターの黒田征太郎さんと子どもたちによるライブペインティングを実施。中劇場エントランス横の真っ白い壁に、自由にのびのびと絵を描きました！※劇場での催し開催時に完成作品をぜひご覧ください。

タナダ ユキ (映画監督)

「サヨナラだけが人生だ」

「サヨナラだけが人生だ」という言葉は、作家の井伏鱒二が「勸酒」という漢詩を訳した際の言葉だ。この言葉は、どちらかというと寂しい印象を持って受け取れることが多い気がする。

誰かとお会いすることは、必ず別れるということの意味する。生き別れるか、死に別れるか、どちらかだ。私たちは、必ず別れが来るということを、よく忘れてしまふ。いつかまた会えるだろうと、つい軽く考えてしまふ。

先日、約二年ぶりとなる映画を撮った。といつてもまだ編集中で、完成はまだ先なのだが。映画を撮り終えると、ホッとした表情とともに「じゃあ、また」という言葉が飛び交う。また一緒に映画を作ろう、の「また」だ。しかし、一本の映画を作るといことは簡単なことではないし、もしやれたとしても、同じスタッフでやれる可能性はとても低い。みんな生活があるし、タイミングが合うことは稀だ。はたまた人生の転機で、この業界を去る人もいる。それでも、また会えることを信じ、「また」の言葉の裏に「お互いしぶとく生きていよう」というニュアンスを含ませる。生きて、努力をしていたら、また会えることもあるだろう、だからとりあえずお互い頑張つて生きてようね、と。

一本映画を作ると、いくつものサヨナラを経験する。同じスタッフ、キャストで、同じ映画を作るとは、当たり前だが二度とない。

人生は後悔ばかりで、ありとあらゆる後悔を、無理矢理納得させながら、時に誤摩化しながら、みんな歳をとつてゆく。40年近く生きていくとわかる。やっぱり、サヨナラだけが人生だ、と。これは寂しい言葉じゃない。「納得できるサヨナラのために、今、何ができる？」という問いではないかと、私は思う。

平成27年4/1(水)から
北九州芸術劇場チケットクラブと
ひびき音楽友の会 が統合し
新しいひとつの会員組織に生まれ変わります

詳細は
HPにて3月に
公開します!!

北九州芸術劇場 & 響ホール チケットクラブQ
これまで以上に、お得に！便利に！お芝居や音楽をお楽しみいただけます。(P.18参照)

募集 北九州芸術劇場プロデュース「彼の地」出演者

2014年に上演し、大好評を博した「彼の地」のブラッシュアップ上演が決定!!
公演に先立ち、若干名の出演者を募集します。ふるってご応募ください。

【作・演出】桑原裕子 【定員】若干名
【オーディション】2015年 4/4(土)・5(日) 【稽古・公演】2016年1月～3月
【会場】創造工房 【申込】詳細は1月にHPにて公開

北九州芸術劇場「彼の地」係 TEL.093-562-2620

募集 北九州芸術劇場プロデュース／市民参加企画
合唱物語「わたしの青い鳥2015」コーラスワークショップ

みんなに届けたい、幸せのハーモニー♪

チルチルとミチルが幸せの青い鳥を探す旅に出る物語「青い鳥」にオリジナルの詞と曲をつけ、市民の皆さんの歌声で綴るコーラスワークショップ。劇場に初夏を告げる人気企画として愛され続け、これまで延べ900名以上が参加。プロの講師の指導のもと、中劇場での本番公演に向けて約1ヶ月半の稽古を重ねます。歌う喜びや舞台上に立つときめきを一緒に味わってみませんか？

日程	5/15 (金)	5/16 (土)	5/22 (金)	5/23 (土)	5/29 (金)	5/30 (土)	6/5 (金)	6/6 (土)	6/12 (金)	6/13 (土)	6/20 (土)	6/21 (日)	6/26 (金)	6/27 (土)	6/28 (日)
13:00～17:00		○		○		○		○		○	☆	○			終日 (ハルカ)
18:00～21:00	○		○		○		○		○				○		終日 (本番)

☆6/20(土)のみ14:00～18:00

【会場】北九州芸術劇場 【合唱指導】樋本英一、伊藤晴 【資格】歌うことの好きな小学3年生以上の老若男女で全日程に意欲的に参加できる方
【料金】一般¥6000、学生(小学3年生～大学生)¥3000 【申込】所定の申込用紙(2月上旬よりHPでダウンロード可)に記入し、郵送にて
【締切】4/27日必着

北九州芸術劇場「わたしの青い鳥2015」係 TEL.093-562-2620

ステージプレビューについて

高校生(的)チケット
高校生対象！数量限定！小劇場作品¥1000
中劇場・大ホール作品¥1500 | HP参照

公演チケット取扱

劇場WEB
http://yyk1.ka-ruku.com/kicpac

携帯サイト
http://yyk1.ka-ruku.com/kicpac-m/

劇場窓口
北九州市小倉北区室町1-1-11
リバーオーク北九州5F

その他
チケットびあ TEL.0570-02-9999
ローソンチケット TEL.0570-000-407

チケットクラブ

会員限定特典もいっぱい!

先行予約 (電話&WEB)
ポイント割引
Q送付 (年4回) など

ご入会・お問合せ
TEL.093-562-8435 (10:00～18:00)

北九州芸術劇場チケットクラブ

会員先行予約方法

先行予約専用
TEL.0570-099-990

WEBサイト
https://yyk1.ka-ruku.com/kicpac

携帯サイト
https://yyk1.ka-ruku.com/kicpac-m

希望する公演の先行予約日(10:00～17:00)に
電話・WEB・携帯サイトからお申込みください。
WEB・携帯サイトは初回予約・購入の際に利用登録が必要です。

お問合せ ▶ 北九州芸術劇場 TEL.093-562-2655 (10:00～19:00)

It's Re-New!

KITAKYUSHU PERFORMING ARTS FESTIVAL

北九州舞台芸術フェスティバル

北九州芸術工業地帯2015

創造的な『回路(ワンアクション)』が、新しい『まちをつくる』

駅や街の雑踏で、突然クラシック／
音楽会がはじまる!

音楽 × 小倉駅

クラシック音楽フラッシュモブ



北九州市や近郊で活躍する音楽家たちによるフラッシュモブ。街ゆく人が突然楽器を取りだしてクラシック音楽を演奏し始めてビックリ?!気がつけば、まちなかが華やかなコンサートホールに大変身しちゃうハッピーサプライズは見逃せない!

◎2月22日(日)
13:30/15:00
◎小倉駅周辺 ◎観覧無料

演劇的工場夜景ツアー『ひかりとけむり』



北九州ならではのロケーションと第一線で活躍するアーティストとのコラボ企画。劇作家・演出家の柴幸男(ままごと)が書きおろす、幻想的な夜の工場地帯を背景に贈るドラマチックな船上ツアーをお楽しみください。

◎作・演出:柴幸男(ままごと) ◎3月6日(金)18:30出発
◎市営渡船乗場(藍島・馬島行フェリー乗場)出発
◎3,000円(当共同通)



柴 幸男

2015年2月14日(土) ▶ 3月22日(日)

公演詳細
応募方法については
チラシ・劇場HP・
twitter・facebookを
ご覧ください!

早春の風物詩
「北九州演劇フェスティバル」が、
新たなコンセプトを携えて生まれ変わります。
その名も「北九州芸術工業地帯」。
かつて「モノづくりのまち」として
日本を牽引してきた北九州ならではの潜在能力を、
舞台芸術という創造的な回路に変換したら
どんなに面白いまちが出来るんだろう、という挑戦です。
それは、芸術を通じた「モノづくりのまち」へのキックオフ。
時にはアーティストが劇場やホールから飛び出して、
工場を背景にしたり。駅や商店街や学校を舞台にしたり。
演劇に限らず、音楽やダンスなど多彩な芸術表現を使って
市民の皆さんと劇的ワンアクションを生み出します。
参加してみれば、もっとこのまちが好きになる。
より一層進化した、新しい舞台芸術フェスに
ご期待ください!

デザインで街の
景色を切り取る

写真
デザイン × 景観

写真展:ドラマチック・キックオフ

作品展:錆びコラージュ

写真家・浅田政志と開幕の合図“キックオフ”をテーマに製作した写真作品と、西日本工業大学学生らが製鉄のまち・北九州に眠る“錆”を撮影収集し、コラージュした作品を展示。



浅田 政志

◎2月14日(土)～3月22日(日) ◎リバーウォーク北九州1階

企業や学校での活動を
体験してみませんか

トーク
WS × 地域

〈企業とつくるダンスプロジェクト〉

◀ コンタクトとトーク ▶

〈小学校で広がる演劇の授業〉

企業と製作したオリジナルダンス通称「リバダン」「そらダン」を紹介。
ワークショップでは「そらダン」を体験。最後はリバーウォーク1階で踊ります!

●参加費無料(要事前申込)

トーク『企業とつくるダンスプロジェクト』@WeLove 小倉 夜会

◎2月19日(木)18:30～19:30 ◎まなびとESDステーション

ワークショップ『企業とつくるダンスプロジェクト そらダンをおどろろ編』

◎2月21日(土)13:00～16:30

◎北九州芸術劇場 創造工房内 稽古場 ◎講師:康本雅子(振付家・ダンサー)

◎対象:中学生以上(定員30名)



今、全国各地の小学校などで話題のプロの演劇人を招いた授業。
ワークショップでは実際に学校で行っているプログラムを体験します。

●参加費無料(要事前申込)

トーク『小学校で広がる演劇の授業』@WeLove 小倉 夜会

◎2月26日(木)18:30～19:30 ◎まなびとESDステーション

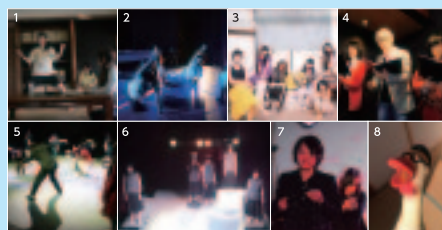
ワークショップ『田上豊演劇ワークショップ～小学校での演劇プログラム～』

◎3月3日(火)・4日(水)19:00～21:30

◎北九州芸術劇場 創造工房内 稽古場 ◎講師:田上豊(田上パル)

◎対象:舞台芸術活動に関わる方(定員20名)

まちなかリーディングダンス



- 1.演劇関係いすとか舎「僕と彼女の、花。」
- 2.成長劇「害獣、トリップ」 3.空中列車「知らないスペース」
- 4.劇団C4「三日月探偵社CASE3.5～月に代わって～」
- 5.ブルーエゴナク「春のベーシック・ソープ・ソース(SBSS)」
- 6.超人気族「安西さんのシロツメクサ」 7.大猫座「やがて小さなplant」
- 8.ワンちゃんあるで!「さみしいときよこにいたらなんとなくおちつく」

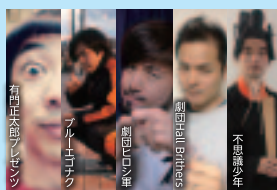
街中のカフェを舞台にして役者が台本片手に演じるリーディング公演。約1ヶ月間の毎週末、北九州市・近郊の劇団8団体がまちなかのどこかで劇的空間を創ります。

◎2月20日(金)～3月19日(木)
◎上演日時・料金はそれぞれ異なります
◎問合せ・予約は各劇団へ

生活空間に眠る
非日常の舞台へとトリップ

演劇 × まちなか

劇ツ×20分



九州各地から集まった5劇団が20分の短編作品を連続上演し、審査員と観客投票により優秀作を選出します。あなたの一票がNo.1の栄光を決める!?

◎3月22日(日)13:00
◎北九州芸術劇場 小劇場
◎1,500円(当共同通)

教室でみる演劇『Q学』



田上 豊

九州に一校しかない演劇専科を持つ東筑紫高校と劇場がタッグを組み、学校にある「教室」で上演・鑑賞できる作品づくりに挑戦します。“体育会系演劇”と評される劇作家・演出家の田上豊と現役高校生が巻き起こす素敵な化学反応に乞うご期待!

◎作・演出:田上豊(田上パル) ◎出演:東筑紫学園高校演劇類型生徒
◎3月14日(土)・15日(日) 両日14:30/17:00
◎14日:東筑紫学園高校 劇表現室/15日:北九州芸術劇場 創造工房内 稽古場
◎観覧無料(要事前予約)

公式ウェブサイト: www. kitakyu-pafca.com

		日程	開演時間	料金	お問合せ
	大	北九州市民劇場 3月例会 前進座 夢千代日記	15㊸-19㊸	15㊸ 14:30 16㊸ 18:30 17㊸ 13:30 18㊸ 13:30 19㊸ 12:00 会費 *市民劇場会員でない方はお問合せ下さい	北九州市民劇場 093-541-0075
	中	小松亮太スペシャルトリオ	15㊸	15:00 S席¥5400 A席¥4000 B席¥3000 *全席指定*未就学児入場不可 *障害者手帳提示¥500引	北九州労音 093-571-0227
	小	ぼこあぼこピアノ・リコーダー教室発表会	15㊸	14:15 *開場は開演の15分前	無料 *全席自由 ぼこあぼこピアノ・リコーダー教室 093-981-0082
	大	北九州市立霧丘中学校吹奏楽部 第27回定期演奏会	21(土・祝)	18:00 無料 *全席自由	北九州市立霧丘中学校 093-931-6558
	大	北九州市立思永中学校 第17回スプリングコンサート	22㊸	15:00 無料 *全席自由	北九州市立思永中学校 093-561-0535
	小	北九州芸術工業地帯2015 関連企画 劇トツ×20分	22㊸	13:00 ¥1500 *全席自由 *未就学児入場不可	北九州芸術劇場 093-562-2655
	小	レディスやはた朗読の会 朗読発表会	24(火)	14:00 無料 *全席自由	レディスやはた 朗読の会 093-652-0640
	大	北九州市立志徳中学校吹奏楽部 第14回定期演奏会 ～スマイルコンサート～	25(水)	18:00 無料 *全席自由	北九州市立志徳中学校 093-962-2481
	小	朝日カルチャーセンター北九州 クラシック音楽に親しむ 第15回発表会	25(水)	14:00 無料 *全席自由	クラシック音楽に親しむ講座 093-661-1468(栗原)
	大	第17回北九州市立沼中学校吹奏楽部 定期演奏会	26(木)	18:00 無料 *全席自由	北九州市立沼中学校 093-472-0784
	大	北九州市ジュニアオーケストラ 第18回チャリティースプリングコンサート	29㊸	15:00 *開場は開演の45分前	無料 *要整理券 *小さなお子様も座席使用の場合 要整理券(膝上観覧は不要) 北九州市ジュニアオーケストラ事務局 093-583-5282
	中	北九州芸術劇場×パリ市立劇場× エスプラネイドーシアターズ・オン・ザ・ベイ×山海塾 共同プロデュース 山海塾「新作」世界初演	28(土)・29㊸	28(土) 18:00 29㊸ 14:00 一般¥4500 ユース¥2500 高校生(的)チケット¥1500 *全席指定 *未就学児入場不可	北九州芸術劇場 093-562-2655
	小	ハーモニーコンサート2014	29㊸	14:00 ¥100 *全席自由	㈱ヤマミュージックリテイリング小倉店GALLOP 093-531-4344(宮川)
	大	第15回 緑丘中学校吹奏楽部定期演奏会	31(火)	17:30 無料 *全席自由	北九州市立緑丘中学校 093-381-4838

■北九州芸術劇場改修工事のお知らせ 北九州芸術劇場は大規模な改修工事のため、次の日程で休館致します。(工事期間：平成26年12月1日～平成27年1月31日)

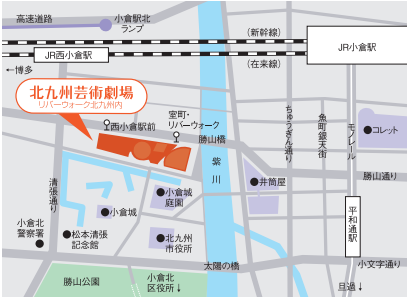
ジャンル

 演劇・舞踊  音楽  その他、講演会など

会場

 大ホール  中劇場  小劇場  創造工房

*表示料金は前売価格です。
*特に表記のない場合（当日前売金額共通）（開場は開演の30分前）
*掲載情報は北九州芸術劇場公演の一部です。12/12金現在の情報であり、
公演名・時間・料金などに変更になる場合がございます。詳細については
各主催者までお問合せください。



北九州芸術劇場
KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER
〒803-0812北九州市小倉北区室町1丁目1-11リバーウォーク北九州6F
TEL.093-562-2655 FAX.093-562-2588
(年末年始のお休み12/29～1/3)
<http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp>
【J R】小倉駅より徒歩10分、西小倉駅より徒歩3分
【バ ス】室町・リバーウォーク(リバーウォーク北九州前)下車
【乗用車】北九州都市高速、小倉駅北ランプから車で5分 ※専用の駐車場はございません。
【空 港】北九州空港よりエアポートバスで小倉駅まで約40分
リバーウォーク北九州(30分¥150)ほか周辺の駐車場をご利用ください。
公演時は劇場ロビーにてリバーウォーク北九州割引駐車券を販売しています。

2

PROGRAM CALENDAR

		日程	開演時間	料金	お問合せ
 小	名越ピアノ教室発表会	1㊸	13:00	無料 *全席自由	名越ピアノ教室 093-471-7018
 小	不思議少年「水と油」	6金-8日	6金 19:00 7土 14:00/19:00 8日 14:00	一般¥2000 高校生以下¥1000 *全席自由 *当日¥500増 *未就学児入場不可	北九州芸術劇場 093-562-2655
 大	建国記念の日奉祝北九州市民大会	11 (水・祝)	12:15 *開場は開演の15分前	無料 *全席自由 *要整理券	建国記念の日奉祝北九州市民大会 実行委員会 090-2082-3067
 中	青年劇場「青ひげ先生の聴診器」	11 (水・祝)	14:00	一般¥3600 中・高生¥1000 小学生 無料 *全席自由*未就学児入場不可	公益財団法人健和会 大手町診療所 093-592-0100(和田)
 中	北九州市民劇場2月例会 エイコーン「櫻の園」	14土-21土	14土 18:30 15日・16日 13:30 17日 13:30/18:30 18日 13:30 19日 12:00 20日・21日 13:30	会費 *市民劇場会員でない方はお問合せ下さい	北九州市民劇場 093-541-0075
 小	北九州芸術劇場リーディングセッションvol.25 「書く女」	14土-16日	14土 18:00 15日 14:00 16日 14:00	一般¥1800 高校生(的)チケット¥1000 *全席自由 *当日¥200増 *未就学児入場不可	北九州芸術劇場 093-562-2655
 大	Peek-a-Boo Dance collection	22日	14:30	¥2500 *全席自由 *当日¥500増	Peek-a-Boo 093-522-0703
 小	桂九雀で田中啓文、こともあろうに内藤裕敬。 笑酔亭梅寿謎解断～立ち切れ線香の章	22日	13:00/17:00	一般¥2500 学生・シニア(65歳以上)¥2000 高校生(的)チケット¥1000 *全席自由 *当日¥300増 *未就学児入場不可	北九州芸術劇場 093-562-2655
 大	劇団カッパ座公演「みにくいアヒルの子」	28土	13:30	大人¥1600 子ども¥1100 *全席自由*当日¥500増	北九州カッパ友の会 070-6801-8222(清末)
 小	北九州芸術劇場+市民共同創作リーディング 「Re:北九州の記憶」	2/28土・3/1日	両日 14:00	¥500 *全席自由 *未就学児入場不可	北九州芸術劇場 093-562-2655

3

		日程	開演時間	料金	お問合せ
 大	北九州ば元気にするバイ! '15	1㊸	15:00 *開場は開演の45分前	大人¥3000 中〜大学生¥2000 小学生¥1000 *全席自由	NPO法人九州プロレス 092-400-9938
 中	北九州子ども劇場 低高合同例会 「空の村号」(劇団仲間)	1㊸	15:00/18:30	会費 *子ども劇場会員でない方はお問合せ下さい	北九州子ども劇場 093-884-3834
 中	小倉南ロータリークラブ 45周年チャリティーコンサート	5金	18:30	¥2000 *全席自由 *当日¥500増	小倉南ロータリークラブ 093-531-1758
 小	MONO第42回公演「ふた草の庭」	7土・8日	7土 14:00/18:00 8日 14:00	一般¥3500 学生¥3000 高校生(的)チケット¥1000 *全席指定*当日¥300増 *未就学児入場不可	北九州芸術劇場 093-562-2655
 大	北九州市立守恒中学校吹奏楽部 第18回スプリングコンサート	14土	18:00	無料 *全席自由	北九州市立守恒中学校 093-961-6051

Hibiki Hall PROGRAM CALENDAR					
		日程	開演時間	料金	お問合せ
🎵	第68回全日本学生音楽コンクール 北九州大会受賞記念演奏会 ～若き演奏家たちのNew Year Concert～	4日	12:00	¥2000 *全席自由 *未就学児入場不可	毎日新聞西部本社事業部 093-511-1119(福田)
🎵	2014響シリーズ第7弾 樫本大進&エリック・ル・サージュ	12月8日	15:00 *開場は開演の1時間前	一般¥5000、U-25¥3000 *全席指定 *当日各¥500増 *未就学児入場不可 *U-25…学生問わず25歳以下・要証明	(公財)北九州市芸術文化振興財団 093-663-6661
🎵	大蔵マイドリーム混声合唱団15周年記念演奏会	18日	15:00	¥1000 *全席自由 *ドリンク付	大蔵マイドリーム混声合唱団 090-1164-5818(田中)
🎵	詩×音楽×ダンス 音巡りコンサート 「ひびきあう」～音と身体で感じるみずかみかずよの世界～ テーマ「いきる:いのり」	25日	15:00	一般¥1000 *全席自由 *当日¥500増 *未就学児入場不可	(公財)北九州市芸術文化振興財団 093-562-3611

2		日程	開演時間	料金	お問合せ
🎵	新ケミカル商事株式会社10周年記念演奏会 「能楽と洋楽をあなたに」	1㊥	14:00	¥500 *全席自由 *新ケミカル商事関係者・音楽協会会員は無料	北九州音楽協会 090-5296-4688(古郷)
🎵	ミュージカル クリエーション vol.12	7㊥	18:00	無料 *全席自由 *要整理券 *乳幼児入場不可	ミュージカル クリエーション 090-7986-5980(野口)
🎵	PTC小さな発表会	8㊥	10:15(予定)	無料 *全席自由	㈱ヤマハミュージックリテイリング小倉店 093-531-4331(春田)
🎵	子どもたちのためのレクチャーコンサート 音楽の楽しみ	14㊥	15:00 *開場は開演の1時間前	無料 *小～高校生対象 *要整理券 *未就学児入場不可	(公財)北九州市芸術文化振興財団 093-562-3611
🎵	第5回 ピティナピアノ コンペティション 入賞者記念コンサート	22㊥	10:30 14:00 *開場10:15	一般¥1000 学生(小～高校生)¥500 *全席自由	㈱ヤマハミュージックリテイリング小倉店 093-531-4342(河嶋)

		日程	開演時間	料金	お問合せ
🎵	2014響シリーズ第8弾 響ホール室内楽フェスティバル	1日 7日	15:00 *開場は開演の1時間前	指定席¥3000、一般自由席¥2500 U-25自由席¥1000、ペア自由席¥4000 【3/1・3/7セット券】 指定席¥5500、自由席¥4500 *当日各¥500増 *ペア・セット券は前売のみ *未就学児入場不可 *U-25…学生問わず25歳以下・要証明	(公財)北九州市芸術文化振興財団 093-663-6661
🎵	第38回 北九州市レディースコーラスフェスティバル	15日	10:00	無料 *全席自由	(公財)北九州市芸術文化振興財団 093-663-6661
🎵	2015年 ヴァイオリン・チェロ演奏会	21日(土)	13:30	無料 *全席自由	スズキ・メソード北九州 090-6421-0792(小川)
🎵	北九州音楽協会設立25周年記念演奏会 「みんなで楽しいコンサート」	22日	11:00	無料 *全席自由	北九州音楽協会 090-8392-3883(古郷)
🎵	響ホール ワンコイン・ランチタイムコンサート 第2回 大分芸短OB北九州支部演奏会「音のおもちゃばこ」	25日	12:10 *開場は開演の40分前	¥500 *ホワイエにて開催 *立見の場合あり *前売は問合せへ	大分芸短OB北九州支部 090-2859-6373(曽根)
🎵	オペラコンサート in HIBIKI ～あなたの心に響くオペラの名曲を!!～	27日	19:00	自由席¥3000 学生(小～大学生)¥1000 *全席自由 *当日¥500増 *未就学児入場不可	特定非営利活動法人北九州シテリオペラ 093-571-0099(事務局) 090-1365-6030(今井)
🎵	アンサンブルコンサート	28日	18:00	無料 *全席自由	篠崎ミュージックアカデミー北九州 093-921-0459(吉田)
🎵	ピアノ発表会	29日	13:00 *開場は開演の15分前	無料 *全席自由	石井・塚本ピアノ教室 090-1169-8620(石井)
🎵	西南女学院高等学校音楽部 第33回定期演奏会	30日	18:00	無料 *要整理券 *未就学児入場不可	西南女学院高等学校音楽部 093-583-5800(千葉)

[illegible]

2014響シリーズ第7弾
榎本大進&エリック・ル・サージュ



榎本大進
©Daisuke Akita

エリック・ル・サージュ
©Jean-Baptiste Millot

華麗なるデュオの世界！
名門ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団第1コンサートマスターとして、クラシック音楽界を牽引する榎本大進が、ついに響ホールに再登場。フランスが世界に誇る室内楽の名手エリック・ル・サージュを伴い、オール・フレンチプログラムでお届けします。躍進を続ける若き俊英と、フレンチピアノイズムの継承者が贈る、極上の音色をご堪能ください。

[出演] 榎本大進(ヴァイオリン)、エリック・ル・サージュ(ピアノ)
[料金] 一般¥5000、U-25¥3000
[会場] 響ホール

15:00  1/12(月) 15:00  *14:00開場

【お問合せ】財団音楽事業課 TEL.093-663-6661

発売中

coba tour 2015 cobacabada



coba

至高のアコーディオンが登場
アコーディオンのイメージをポップミュージックの世界で大きく変えた音楽は、今や"coba"というひとつの音楽ジャンルだ！火を噴くような驚愕の「リベルタンゴ」をはじめとするカバー曲に加え、ポップで心躍るオリジナル曲の数々、と聴きどころ満載！情熱的なサウンドと力強くも繊細なパフォーマンスを五感でお楽しみください。

[出演] coba(アコーディオン)
天野清継(ギター)、伊丹雅博(ギター)
[料金] ¥5000
[会場] 戸畑市民会館大ホール

17:00  1/31(土) 17:00  *全席自由

【お問合せ】財団音楽事業課 TEL.093-562-3611

発売中

2014響シリーズ第8弾
響ホール室内楽フェスティバル



菊村隆史

榎本裕子

田室信哉

三宮正満

室内楽の祭典
響ホールから創造と発信をテーマに贈る響ホール室内楽フェスティバル。1日目は『弦楽と合唱の調和』と題し、この日のために特別編成されたフェスティバル合唱団がステージを彩ります。弦楽と合唱の響きに包まれながら至福のひと時をお過ごしください。2日目は『イタリアより愛を込めて』と題し、バロック・オーボエの名手、三宮正満をソリストに迎えてお送りします。それぞれの時代で進化していったオーボエを実際に吹き比べながら、愛の国イタリアの名曲と共にその魅力と歴史をお届けいたします。P21～23の特集もご覧ください。

[出演] 響ホール室内合奏団
【3/1】菊村隆史(指揮)
榎本裕子(フルート)、田室信哉(フルート)
2015フェスティバル合唱団
【3/7】三宮正満(オーボエ)
[料金] 指定席¥3000、一般自由席¥2500
U-25自由席¥1000、ペア(自由席)¥4000
【3/1、3/7セット券】指定席¥5500、自由席¥4500
[会場] 響ホール

15:00  3/1(日) 15:00  3/7(土) 15:00  *14:00開場

【お問合せ】財団音楽事業課 TEL.093-663-6661

発売中

*一部指定席 *ペア、セット券は前売のみ

平成26年度 合唱組曲「北九州」演奏会



[出演] 合唱：北九州をうたう会、市内青少年少女合唱団
市内中学校合唱部
祇園太鼓：小倉祇園太鼓保存振興会
指揮：増井信貴、管弦楽：九州交響楽団
[料金] 一般¥2000、学生¥1000
[会場] アルモニーサンク北九州ソレイユホール

ふるさと北九州をうたう
1978年、市制15周年を記念して、日本を代表する作曲家 團伊玖磨と本市に縁の深い栗原一登の作詞により作られた合唱組曲「北九州」。北九州の美しい自然やささまざまな祭り、市民の活気あふれる生活などがふんだんに織り込まれたふるさと讃歌を盛大に歌い上げます。

[お問合せ] 財団音楽事業課 TEL.093-562-3611

15:00  3/8(日) 15:00  *14:00開場

発売中

*全席自由

北九州市ジュニアオーケストラ
第18回チャリティースプリングコンサート



[料金] 無料(要整理券)
*小さなお子様も座席使用の場合は整理券必要
[チケット取扱い] 大手町練習場 ほか
[会場] 北九州芸術劇場大ホール

団員自ら企画！
「音楽を通じて客席の皆さんと楽しいときを過ごしたい」として「世界各地で苦しむ子どもたちの一助になりたい」という団員の願いをかたちにしたチャリティーコンサート。指揮は沖澤のどか。小学校5年生から高校2年生約100名が出演し、アンサンブルステージやフルオーケストラステージをお届けします。

[お問合せ] 北九州市ジュニアオーケストラ事務局
TEL.093-583-5282

15:00  3/29(日) 15:00  *14:15開場

一般 3/2月～

*全席自由 *託児サービスなし

平成27年4/1(水)から
北九州芸術劇場チケットクラブと
ひびき音楽友の会 が統合し
新しいひとつの会員組織に生まれ変わります

北九州芸術劇場 & 響ホール
チケットクラブQ
これまで以上に、お得に！便利に！
お芝居や音楽をお楽しみいただけます。

特典1 
チケットクラブQ 会員さまだけの
先行予約
(電話・インターネット)
一般発売に先がけて
いち早くチケットが入手できる
チャンスです！

特典2 
ポイント積立による
割引サービス
チケット購入金額の5%相当のポイントが
積立されます。(1公演につき4枚まで)
例えば5,000円のチケットの場合
250円分のポイントがたまります！

特典3 
年4回
情報誌Qを無料で
お届けします！
最新の公演情報はもちろん、
まちの情報などが盛りだくさんの
情報誌を無料でお届けします！

特典4 
協賛店で割引など
お得なサービスが
受けられます！
協賛店やお得な
サービス内容はHPを
ご覧ください！
詳細は
HPにて3月に
公開します!!

新規会員募集開始 平成27年4/1(水)スタート！
会費 500円(入会金なし) 有効期間 2年間(入会日から2年後の同月末日まで) 入会受付 窓口(北九州芸術劇場・響ホール)またはお電話でご入会ください。
お問合せ 北九州芸術劇場チケットクラブ TEL.093-562-8435 (受付時間10:00～18:00) http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp/tguidance/index.html

公演チケット取扱


電話

STAGE PREVIEW
*お問合せを
ご覧ください。


北九州芸術劇場
窓口

北九州市小倉北区
室町1-1-11
リバーウォーク北九州5F


響ホール
窓口

北九州市八幡東区
平野1-1-1
響ホール内
管理事務室


その他

チケットぴあ
TEL.0570-02-9999
ローソンチケット
TEL.0570-000-008

公演情報

財団音楽事業課
公演情報はコチラから


WEB

Q 財団音楽事業課 検索
http://www.kicpac-music.jp

ステージレビューについて

*特に表記のない場合
(全席指定) [当日¥500増] [未就学児入場不可] [開場は開演の30分前]
*U-25…今年25歳以下(1988年以降生まれ)で学生以外も含まれます。
*予約・購入後のチケット取替・変更・キャンセルはできませんので
ご了承ください。
*前売券でチケットが完売した場合は、当日券の販売はございません。
*公演日程など変更になる場合がございます。
*託児サービスあり。
(※テノ、コーポレーション [有料要予約tel.0120-400-829]
*車椅子でのご来場をご希望の方は事前にお問合せください。

お問合せ ▶ 財団音楽事業課 TEL.093-663-6661 (9:00～18:00/土日祝休)

経験になると思うんです。

関原 そうしていろいろな形で音楽を発信し、広めていくことが私たちの役割だと思っています。「響ホール」の名を冠した室内合奏団ですから、その名に恥じないようにという思いも感謝の気持ちもありますし、多くの方々に響ホールへ足を運んでいただきたいですね。まずは、いろいろな場所でおこなうミニコンサートで室内合奏団を知っていただいて、次は私たちの定期演奏会などで響ホールへ。そうなれば嬉しいです。

加来 響ホールは、特に私たちのような弦楽合奏や少人数編成で演奏するには最高のホールなんですよ。音の残響が長くて、その名のとおり響きがとてもいいホールです。

弦楽と合唱の荘厳なる響き、魅惑のオーボエ。見どころ聴きどころ満載の室内楽フェスティヴァル。

3月に開催される「響ホール室内楽フェスティヴァル」のプログラムについて詳しくお聞かせください。

関原 まず1日目の「弦楽と合唱の調和」ですが、大きな特徴としては、今回このプログラムの

ためにフェスティヴァル合唱団を特別編成したことが挙げられます。「北九州・下関大学合唱連盟」に加盟している合唱団および卒業生を中心とした40人ほどの合唱団です。

彼らの若いエネルギーにあふれた歌声を存分にお楽しみいただけるのが、16世紀フィンランドの聖歌集からの選曲。オルガンも入りますが、合唱団のアカペラがメインとなる予定です。

1曲目は私たち室内合奏団の演奏で、グリーグの組曲「ホルベアの時代から」。爽やかではつらつとした音楽なので、フェスティヴァルのオープニングにふさわしく、華やかに賑やかにお届けしたいと思います。

2日目は“オーボエ三昧”のプログラムですが、聴きどころは？

関原 バロック・オーボエの名手、三宮正満さんをソリストに迎えてお届けします。バロック・オーボエは「古楽器」と呼ばれる昔の楽器で、400年ものオーボエの歴史の中で少しずつ現在の形へと変わってきました。ルネッサンス、バロック、ロマン、現代と進化していったオーボエを曲ごとに持ち替えていくことで、各時代の音を実際に聴き比べ、進化をたどりながら、当時の楽器の響きに耳を傾けてもらおうというプログラムです。

加来 時代によって楽器の音色も違いますが、形や大きさ・色も変わっているの、耳だけでなく目でもお楽しみいただけますよ。

Violins

加来 洋子
〔ヴァイオリン〕

HIBIKI HALL & Hibiki Strings Presents

2014響シリーズ 第8弾

響ホール室内楽
フェスティヴァル

Bellos

関原 弘二
〔チェロ〕



では、「響ホール室内楽フェスティヴァル」を楽しみにしていच्छる方々にメッセージを。

加来 私たちは普段、弦楽のみの合奏団で演奏していますが、今回のフェスティヴァルのように、合唱や管楽器とコラボレーションして演奏する中で、伴奏としての弦楽合奏の魅力も伝わればいいなと思っています。

合唱があつて管楽器があつて、そのバックには弦楽合奏がある。歌声や管楽器と互いに引き立て合い、一つになってサウンドが完成する、コラボならではの魅力をお楽しみください。

関原 練りに練った今回のプログラムは、またとないコラボレーションになると思います。響ホール室内合奏団のメンバーも、フェスティヴァルを楽しみに日々練習に励んでいます。

実は、3月のフェスティヴァル後、6月には次年度の響ホール室内楽フェスティヴァルも予定されていますので次回もぜひご期待ください。

まずは3月、春一番の“音楽の祭典”でお会いしましょう！ ※公演概要についてはP19をご覧ください。

言葉と音と身体が渾然一体となった、新しい形の舞台芸術作品。

4館
連携企画

北九州市立文学館
KITAKYUSHU LITERATURE MUSEUM

北九州市立美術館
KITAKYUSHU MUNICIPAL MUSEUM OF ART

北九州市立響ホール
HIBIKI HALL

北九州芸術劇場
KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

詩 × 音楽 × ダンス 音巡りコンサート



児童文学作家
みずかみかずよ
(1935～1988)



中村 透



©升田学
セレノグラフィカ

ひびきあう
～音と身体で感じるみずかみかずよの世界～

詩：みずかみかずよ

音楽構成・演出：中村透

構成・振付・演出：隅地茉歩(セレノグラフィカ)

ダンス：セレノグラフィカ(隅地茉歩＋阿比留修一)

音楽：井尻兼人(チェロ)、與儀朋恵(パーカッション)

いのち

生命の輝きを見つめ続けた、みずかみかずよ。

「あかいカーテン」「金のストロー」など、小学校の国語の教科書でみずかみかずよの詩に触れた方も多いと思うが、彼女が福岡県八幡市(現 北九州市八幡東区)に生まれ住んでいたことはご存じだろうか。

幼少時代に両親を亡くし、遠縁の親戚に育てられたかずよは、八幡中央高等学校を卒業後、尾倉幼稚園に勤めていた23歳の時、北九州で発刊されたばかりの児童文学誌『小さい旗』に参加。そこで水上平吉氏と運命的な出逢いをして結婚、以降、53歳で生涯を終えるまでの30年間、「言葉はやさしく、心は深く」をモットーに詩や童話の創作を続けた。

「彼女の詩はまっすぐで、あたたかく、心が浄化されるような力を持ってい

文学館館長 今川英子

ます」と語るの、みずかみかずよの作品を展示する文学館館長の今川英子さん。「順風満帆とは言えなかった人生でしたが“言葉の持つ生命”を信じ、明るくみずみずしく、透明感に満ちた詩を書いたかずよさん。晩年の闘病生活でも命を削って綴った言葉には、生きとし生けるものすべてへの感謝の祈りがこめられています」

詩の世界を重層的に表現した“感じる舞台”。

夫と子どもたちの愛情を支えに、書くことを生命として生きた、みずかみかずよ。その作品集から選んだ数篇の詩を軸に、朗読・音楽・ダンスをコラボさせたコンサートが市内3施設で開催される。「いきる」というメインテーマのもと、彼女の人生を追うように「春夏秋冬」「あなたとわたし」「いのり」と3つのサブテーマを設け、施設ごとに異なる舞台を展開するのだ。

音楽構成・演出を手掛ける中村透さん

は「言葉と音と身体による、時間・空間創造の試み」と、その新しさを語る。「朗読と音楽とダンスが渾然一体となって聴覚や視覚、肉体の感覚に訴え、観る人に新しいみずかみかずよの世界を彷彿とさせることが狙いです。家を3軒建てるような大変な作業ですが(笑)、刺激的でワクワクしていますよ」と中村さん。

また、詩のセレクトから構成・振付・演出まで担うダンサーの隅地茉歩さんは、「共演者が各々“こうアプローチしたい”と思うことを出し合い、試して、選び取っていくような舞台づくりです。一度限りのライブですから、振付は即興的な部分も残し、本番の“磁場”を感じとって身体に乗せたい」と、今作への意欲を語ってくれた。

各施設の特徴あるロケーションを活かした詩、音楽、ダンス。ジャンルの違う要素がひびきあい織り成す、新しいみずかみかずよの世界。その世界を訪れ、感じるままに身を委ねてほしい。

取材・文：堀出 桂子

北九州市立文学館
KITAKYUSHU LITERATURE MUSEUM

いばる：春夏秋冬

季節を表現したコンサートを音楽、ダンス、朗読とともに上演します。朗読は多田香織(万能グローブ ガラパゴスダイナモス)、小学生の2名。みずかみかずよさんの作品展示やアフタートークも予定しています。

2015年1月23日(金)19:00開演(18:30開場)
料金:500円(当日300円増)

北九州市立美術館
Kitakyushu Municipal Museum of Art

いばる：あなたとわたし

音楽、ダンス、朗読のコラボで愛に満ちた優しい空間を演出します。朗読は公募で選ばれた中学生の中村唯人。荘厳な曲とともに繰り広げられる即興ダンスも必見。

2015年1月24日(土)11:00開演(10:30開場)
料金:無料

北九州市立響ホール
HIBIKI HALL

いばる：いのち

舞台上に客席を設け、音巡りの世界を身近に感じていただきます。やさしい言葉で織り成す詩を、音楽、ダンス、朗読とともにお届けします。

2015年1月25日(日)15:00開演(14:30開場)
料金:1,000円(当日500円増)

【お問合せ】チケットに関するお問合せはこちら→093-562-2655 その他、内容に関するお問合せはこちら→093-562-3611

HIBIKI HALL & Hibiki Strings Presents

2014響シリーズ 第8弾

響ホール室内楽 フェスティヴァル



響ホール室内合奏団メンバー

♪コンサートマスター
上野 美科

♪アシスタント・コンサートマスター
福崎 雄也

♪ヴァイオリン
加来 洋子
倉田 輝美
中村 美穂
武内 麻美
長島 洋太
廣末 真也
山下 陽子
八尋 朋子

♪ヴィオラ
今村 順子
友松 愛
松隈 聡子
西井 一恵

♪チェロ
関原 弘二
加治 誠子

♪コントラバス
武富 祐子

響ホールのステージを華やかに彩る 春一番の“音楽の祭典”

響ホールから創造と発信をテーマに贈る「響ホール室内楽フェスティヴァル」。今回は、響ホール室内合奏団と合唱・オーボエとの2つのコラボレーションによる音楽の祭典が2日にわたって繰り広げられる。

オープニングを彩る1日目[2015年3月1日(日)]のプログラムは「弦楽と合唱の調和」。この日のために特別編成されたフェスティヴァル合唱団と響ホール室内合奏団が至福の響きを届けてくれる。

2日目[3月7日(土)]は“魅惑のオーボエ”をテーマに、バロック・オーボエの名手、三宮正満氏をソリストに迎えて、ルネッサンスから現代までオーボエ400年の歴史と魅力を追いかけるプログラムとなっている。

この注目のステージに企画段階から携わっている響ホール室内合奏団。楽員長であり首席チェロ奏者でもある関原弘二さんと、第2ヴァイオリン首席奏者の加来洋子さんのお二人が、同合奏団の活動や今回のフェスティヴァルの聴きどころを語ってくれた。

取材・文:塩出 桂子

響ホール室内合奏団 Hibiki Strings of JAPAN

響ホールの初代館長、故 後藤忠雄氏の“地元の演奏家を育てていきたい”という熱意から「響ホール室内合奏団」という名称で1998年に結成。団員は北九州市とその近郊在住の弦楽器奏者で構成され、1998年から毎年響シリーズに出演、定期演奏会・自主公演のほか、国際音楽祭、公民館や小学校での“ふれあいコンサート”や“スクールコンサート”など地域に根ざした活動も目指している。レパートリーは、クラシックや現代曲からポピュラーミュージックまで幅広く、編成も曲やホールによってフレキシブルに対応できるよう工夫されている。2003年北九州市民文化奨励賞受賞。

響ホール室内合奏団ならではの多様なスタイルで音楽をこのまちに、全国に、海外に発信したいんです。

結成16年を迎えた響ホール室内合奏団。現在の活動についてお聞かせください。

関原 響ホールを拠点とする活動としては、夏と秋の年2回、定期演奏会をおこなっています。また、響ホール主催の「響シリーズ」コンサートにも毎年出演させていただいています。

このほかに、小学校や市民センターで演奏したり、ホテル アルモニーサンクとの共同企画でチャペルコンサートを開いたり、大小合わせて年間60公演くらい。時には一日で2カ所をまわることもあるんですよ。

加来 …といっても、現在のメンバー17名が毎回全員出演するわけではなく、会場やプログラムに応じていろいろな編成を組んでいます。小さな会場なら4人編成にしたり、アルモニーサンクではランチバイキングやケーキセット付きのコンサートにしたり。クラシックは縁遠いという方にも気軽に足を運んでいただけたら…という思いで、さまざまな場所・スタイルで演

奏しています。

関原 年間約60公演のうち95%は北九州市内でおこなっているんですよ。残り5%は福岡や下関など近郊が多いですが、創立10周年を迎えた2008年には東京・紀尾井ホールでも公演をおこないました。

何年かに一度は海外公演もあり、2003年には創立5周年を記念して英国4カ所で演奏会をおこない、好評を頂いて翌年に再渡英しました。2006年と2011年には韓国でも演奏させていただきました。

精力的にコンサートをおこなわれている中、この16年間で北九州の音楽文化に変化や手応えを感じていますか？

関原 音楽という文化の土壌が育ってきたというよりは、私たちがこういった形のコンサートを積極的におこなうことで、市民の皆さんが身近に楽器を見聞きする機会が増えたのでは…と感じています。

これまでは、大きいホールに行ってステージ上でオーケストラが演奏しているのを見聞きするだけだった音楽を、より身近なものとして感じていただけるようになったのではないのでしょうか。

加来 それに、楽器をより身近に感じてもらうために、小学校などへコンサートに行くと、子ども用の楽器に触ってもらったり弾いてもらったりする“楽器体験”もおこなっています。そうすると、楽器に親しみが持てるようになりますよね。

北九州という地域に根ざした活動の中で、響ホール室内合奏団が果たすべき役割をどうとらえていますか？

関原 北九州では、毎年恒例の「国際音楽祭」をはじめ国内外の素晴らしいアーティストをたくさん招いて、数多くのコンサートが開かれています。東京や海外まで行かなくても、これだけのアーティストの演奏に触れる機会がある北九州は本当に恵まれた環境だと思います。

…ただ一つ残念なのは、市民の皆さんがそのアーティストのコンサートへ足を運ぶのは365日の内の1日だけということ。ですから、残りの364日を埋めることが、私たちのような地元根ざした音楽家の役目だと考えています。

加来 先ほどお話ししたように、例えば楽器の知識や仕組みを少し知るだけで、音楽に対する意識がちよっと変わる。特に子どもの頃にそういう体験ができれば心に残ると思うし、大事な

[p.21へ続く]



芸術文化振興基金助成事業